

加九十九里町 議会だより

開かれた議会をめざす

No.3

令和2年3月1日発行

目次

- ◆ 12月定例会概要、主な議案 p2
- ◆ 一般質問 p3~p13
- ◆ 議員研修報告、本会議傍聴の手順 p14
- ◆ 12月定例会審議結果 p15

表紙

「九十九里海岸 昇陽」
写真提供者「九十九里町写友会」

新しい条例を制定

～明るく豊かで活力ある生活のために～

12月定例会

会期 12月3日～5日

令和元年12月定例会は、町長から提出された議案16件、諮問1件が審議され、すべて原案通り可決、承認、同意されました。

陳情については、不採択となりました。

可決した主な議案

本定例会で可決された議案の中から、町議会が注目した内容を紹介します。

議案第8号

会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について

○制定理由

「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律（平成29年法律第29号）」の公布により、令和2年度から、会計年度任用職員制度が施行されるため制定するものです。

○内容

会計年度任用職員の給与

（給料、手当、報酬、期末手当）ならびに旅費および費用弁償の支給などに関し必要な事項を定めたものです。

○施行期日

令和2年4月1日



議案第9号

九十九里町地域産業活性化基金条例の制定について

○制定理由

九十九里町における農漁業、商工業および観光の活性化に必要な資金に充てるため制定するものです。

○経緯

『いわしの交流センター』の前指定管理者（九十九里町商工会）からの寄付（549万4318円）があったため基金条例を制定することになりました。

○施行期日

公布の日から

（令和元年12月13日）



議案第10号

九十九里町森林環境整備基金条例の制定について

○制定理由

「森林環境税及び森林環境贈与税に関する法律（平成31年法律第3号）」の公布、平成31年4月1日一部（譲与税）施行により、市町村が実施する人材育成・担い手の確保、木材利用の促進、普及啓発などの「森林整備およびその促進」に必要な経費の財源に充てるため制定するものです。

○施行期日

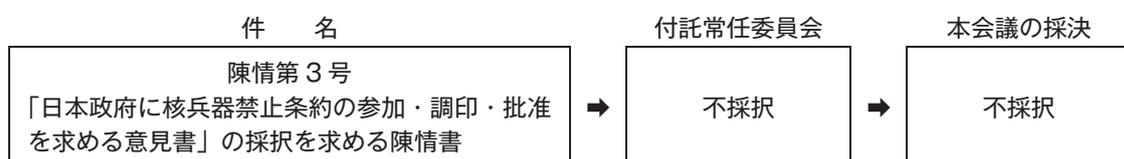
公布の日から

（令和元年12月13日）



陳情 1件を不採択

12月定例会に提出された陳情1件は、総務経済常任委員会へ付託され審査されました。結果は下記のとおりです。





九十九里町の ここが聞きたい

一般 質問



Q & A

12月定例会

10人の議員が町政を問う

古川 徹 議員 p4

- ◆町の重点施策
- ◆防災対策
- ◆町の資源である海を活用した「洋上風力発電」の設置

谷川 優子 議員 p5

- ◆交通弱者対策
- ◆災害対策
- ◆国民健康保険制度

荒木かすみ 議員 p6

- ◆被災者の生活再建となりわいの再建
- ◆地域防災の推進
- ◆河川の防災対策
- ◆今後の災害時の対応
- ◆ロタワクチンの定期接種の推進
- ◆市民農園の活用推進

鎗田 貴俊 議員 p7

- ◆農地の集積・集約化に向けた町の今後の取り組み方針
- ◆農業集落排水事業の維持管理に関する課題
- ◆ふるさと納税制度の新基準への対応

西村 みほ 議員 p8

- ◆子どもたちの教育環境の充実
- ◆交流人口の拡大

原田 教光 議員 p9

- ◆今回の台風による地場産業の被害状況と支援対策
- ◆基幹産業である農業の振興
- ◆千葉工業大学との包括的な連携に関する協定

細田 一男 議員 p10

- ◆福祉の充実
- ◆県道飯岡一宮線に架かる作田川架橋の建設計画
- ◆防災計画
- ◆町営ガスの運営状況

善塔 道代 議員 p11

- ◆台風や集中豪雨の対策
- ◆学校ICT教育
- ◆防犯対策

小川 浩安 議員 p12

- ◆台風などによる被災に係る費用
- ◆道路などの環境保全

浅岡 厚 議員 p13

- ◆本町における水害対策
- ◆津波対策事業の進捗状況
- ◆海岸侵食に対する町の取り組み

※紙面の都合により掲載できなかった質問内容は、町のホームページからご覧いただけます。

九十九里町 議会会議録

検索



ふるかわ とおる
古川 徹 議員

被災者に最大限の
支援と魅力ある
まちづくりを！

町の重点施策は

問 町長の2期目に向けたビジョンの進めかたは。

答 【町長】 九十九里浜を最大限活用した交流人口の増大については、これまで以上に、ビーチスポーツに力を入れていきたいと考えております。



問 リゾート開発の考えは。

答 【町長】 民間業者によるリゾート開発などは、町の魅力向上に繋がるものと考えております。

問 小中学生の学力向上に向けた取り組みは。

答 【町長】 特色のある英語教育の取り組みが考えられます。

問 高齢者が暮らしやすいまちづくりは。

答 【町長】 買い物や見守りなどの支援、介護予防拠点の強化も図り、デマンド乗り合いタクシーなど公共交通全体の在り方を整理するよう指示しました。

問 若者の起業へ積極的な支援は。

答 【町長】 農業の担い手の育成や、水産資源ブランド化で市場の拡大など、また、空き公共施設などの活用で、積極的な支援をおこないたいと考えております。

問 地方創生総合戦略については。

答 【町長】 3つの基本目標を掲げ、42事業を展開しており、令和2年度に総合戦略審議会において評価いただくため、基本目標達成に向けて展開しているところです。

防災対策は

問 台風15号・19号により被害を受けた被災者への支援は。

答 【町長】 一部損壊した住宅については、損害割合が10%以上20%未満の場合は、災害救助法対象事業として支援し、10%未満の場合は、防災・安全交付金対象事業として支援する準備を進めております。また、台風15号の被害で多額の修繕費がかかる場合、住宅の補修などのために資金を金融機関から借り入れた際の支援としまして利子補給事業補助金を準備しています。

問 災害対策本部設置の在り方は、気象情報により、災害がおきる

前に町の判断で設置は。

答 【町長】 大規模な災害が想定され、町長が必要と認めた場合は、設置が可能となっております。

問 今後の台風や自然災害の対策と備えは。

答 【町長】 関係機関からの情報収集にいち早く努め、今回の災害対応の検証を行い、防災計画や災害対策マニュアルの見直しに役立ててまいります。

問 産業道路排水付近や不動堂丘地区の一部地域の冠水対策は。

答 【町長】 産業道路排水付近の冠水対策については、平成30年度に整備形態が定まり、今後は基本設計および詳細設計の実施について検討、補助制度などの財源確保についても検討してまいります。

不動堂丘地区の一部地域の冠水対策は、今後、流量調査を行い排水機場のポンプ機能強化を検討し、被害軽減に努めます。

交通弱者対策は

問 九十九里町の住民にとって地域の交通は充足されていません。町長は「持続可能な交通弱者対策に取り組んでいく」と回答がありました。具体的な対策は、

答 【町長】 デマンドタクシーや循環バスなど、様々な交通弱者対策がありますが、実情把握を含め国や県、有識者などを交えて、地域公共交通のあり方を検

住民が安心して暮らせる公共交通を！



谷川 優子 議員

討していく機会を設けたいと考えております。

バス路線の変更で利便性は

問 「運行ルート変更で作田岡地域周辺の利便性が向上する」と回答がありました。しかし、作田岡の住民の方から、バス停まで歩いて30分から40分かかるとお聞きしました。利便性が図れたとはいえないのではないかと

答 【町長】 バス事業者からは、「新たな利用者が増えた」との報告を受けています。作田岡地域周辺の交通の利便性が向上したものと考えています。



問 公共交通の実現については、住民の実情をつかみ、検討しながら交通対策を推進することが必要だと思えます。そのための仕組みづくりや、住民の実情の把握はどのようにするのか。

答 【町長】 直接来庁される方や転入転出者に対するアンケートで、要望の把握に努めています。また、次期総合計画のアンケートのなかで、公共交通機関について住民ニーズの把握に努めてまいります。

避難施設の環境整備を

問 避難住民のなかには、アレルギーの人や障がいのある方、また乳幼児もいます。

答 【町長】 要配慮者に考慮した避難所へのエアコン設置が必要ではないか。また「自主避難」では布団や食料の持参が求められますが、「指定緊急避難」と同等の対応をするべきではないか。

答 【町長】 町で避難所として指定しているのは、小・中学校と九十九里高校の体育館ですが、現在エアコンは設置されておりません。しかし避難所での生活が長期化した場合は、空調設備が設置されている教室棟を利用するなどの対応を図っていきたいと考えています。

国民健康保険の負担軽減は

問 来年度、県から示される国民健康保険の「標準保険料率の試算」はどれくらいなのか。

答 【町長】 県から示された標準保険料の試算では、県平均一人当たりの標準保険料が、約10万7千円に対し、本町は約9万4千円となっています。

一人当たりの医療費が、高齢化や医療の高度化により、増加傾向にあることから前年度比8・3%の増となっています。

均等割の負担軽減を

問 加入者の高齢化、所得減少のなか、保険税負担は重くなっている。子どもにかかる均等割の軽減措置を求めます。

答 【町長】 軽減については、7割、5割、2割の法定軽減が設けられています。本年度、地方税法施行令の改正により、5割および2割の軽減を判定する所得が引き上げられております。



荒木 かすみ 議員

被災者の生活再建
が急がれる。
その対応策は！

被災者の生活再建となりわいの再建をどのように支援していくのか

問 個人の小規模事業者に対して、屋根、壁などの一部損壊に補助はあるか。

答 【町長】 農林水産業や商工業など、それぞれの分野で「国・県」の補助制度、利子補給制度が創設されておりますので活用について周知してまいります。

これからの防災の推進を

問 災害時の自治区のかかわりを強化しなければならないと思うが。

答 【町長】 地域や近隣が助け合う「共助」が重要。各自治区との連携で地域防災力の向上に努めます。



問 災害時に地域の集会所を活用した支援は可能か。

答 【総務課長】 災害が長引いた場合、地区の集会所を利用させていただき、生活物資の支給などを行うことがあるかもしれません。そのような場合、ご協力をお願いしたいと思います。

問 満潮時の水位の状況および河川堤防の傷み具合と調査は。

答 【町長】 台風19号では、真亀川はん濫注意水位2・7mに対し2・38m。作田川はん濫注意水位3・34mに対し2・21mという状況でした。河川を管理している千葉県山武土木事務所では、川の増水前と後に巡視し、必要な対策を図っていくとこのことです。

問 豪雨時の常に冠水する被害場所への対応は。

答 【町長】 本町は、真亀川、作田川の流末部に位置しており、両河川の水位が下がらないと内水処理が出来ない状況です。農業用排水路関連につきましては、ポンプ機能強化と被害軽減に努めていきます。



問 災害マニュアルに基づく活動はできたか。今後の見直しは。

答 【町長】 台風15号、19号および10月25日の大雨に際し、災害対応マニュアルにより、職員の配備体制を執り、災害対策本部の設置、避難所の開設などの対応をしました。今回の災害における課題を検証し、関係機関と連携を図るとともに、災害時に迅速かつ円滑に対応できるマニュアルとなるよう見直しを図ってまいります。

ロタワクチンの定期接種を

問 乳幼児の重い胃腸炎の原因となるロタウイルス対策としてワクチンの定期接種化を昨年9月と今回と2度にわたり要望しているが。



答 【町長】 国でも検討され、令和2年10月から全額公費負担で受けられるよう町でも準備してまいります。

農地の集積・集約化に向けた町の今後の取り組み方針は

問 担い手への農地集積・集約化をどのように捉えていくのか。

答 【町長】 農地が分散している状況では、農業全体のコスト高に繋がりが効率も悪いため、農地の集積・集約化により、効率のよい農業の環境を整えれば、生産性も高まり経営も安定していくため、町としても積極的に進めてまいりたいと考えております。

農地集積・集約化の進展に町のリードを期待！



議員 貴俊 田 鏡

問 国から示された「人・農地プラン」を具現化する構想は。

答 【町長】 町では町全域を対象とした「人・農地プラン」を平成26年3月に作成したところですが、法律の一部改正により、実質化した「人・農地プラン」を作成することになりました。

このため同プランを真に地域の話し合いに基づくものにする観点から、アンケートの実施や調査を行ったうえで、中心経営体への農地の集約化に関する将来方針を令和2年度末までに作成し、「人・農地プラン」の実質化を図ってまいります。

農業集落排水事業の維持管理に関する課題

問 将来的な設備更新費等の対応計画は、予定通り進んでいるか。

答 【町長】 平成21年度に実施した排水施設機能診断に基づき、各処理場の機器の修繕や交換を実施しており、今年度は真亀丘地区の施設改修工事の全体設計を完了する予定です。

また他の施設につきましても、順次改修を進めてまいります。

問 収支計画における収入財源の確保は、予定通り見通せるか。

答 【町長】 来年度より、同事業の地方公営企業会計への移行を予定しており、原価償却費・事業費・人件費等のコスト情報、資産・負債等のストック情報が「見える化」になることから、収支計画の透明化、効率化及び適正化を進め、経営の健全化を図ってまいります。

ふるさと納税制度の新基準への対応

問 地域的につながりのある市町同士で、共通の返礼品を扱えることへの町の見解は。

答 【町長】 本町においては返礼品となり得る地域資源が存在しており、今後も引き続き事業者と協力いただきながら、さらに魅力的な返礼品を用意できるよう地域資源の返礼品としての掘り起しに注力してまいります。



問 農地中間管理機構を介した農地集積バンク事業が当地において進展しない要因は。

答 【町長】 個人間での農地の貸し借りでは、借り手を確認出来ませんが、農地中間管理機構に登録した場合は借り手を確認出来ず、またいつ借り手が現れるかも分からないことが大きな不安となり、それが進展しない要因ではないかと捉えております。今後、事業内容の理解が深まるよう広く周知し、利用促進を図ってまいります。



にしむら
西村 みほ 議員

地域のたからで
ある子どもたち
のために！

子どもたちの教育環境の充実を

問 町内の小学校の英語活動の現状は。

答 【教育長】 平成29年に改訂された学習指導要領の小学校外国語科は令和2年度から完全実施となり、それまでの期間は円滑な実施に向けた移行措置期間となります。

移行措置期間中は学校により相違がありますが、本町の場合、

合、小学校5、6年生の外国語科は年間70時間、3、4年生の外国語活動は年間35時間で、完全実施の形を取り入れております。



問 小学校1、2年生からの英語活動は可能か。

答 【教育長】 今回改訂された学習指導要領では扱われていないため、現在は各学校の裁量として、校長の判断で取り組んでおります。

今後は県で配置する英語専科教員の要請を行うとともに、1、2年生につきましても、限られた時間の中で、より良い手段を工夫しながら実施できるように、学校と協議をしていきたいと考えております。

問 長期休業時の学習的事業「ALTと英語を学ぼう」の継続について。

答 【教育長】 英語に興味をもって学び続けるための基礎づくりを目的に、平成28年度より開始し、夏休み期間を利用して小学校4年生から6年生および中学生を対象として4日間開催しています。（1日目から3日目は英会話や町を紹介する英語表現の勉強。4日目の最終日には外国人旅行者に対して実践形式で町のPR）実施後のアンケートの結果、子どもたちには大変好評です。今後も学校と連携を図りながら、継続してまいります。



築地場外市場で英会話を実践している様子

交流人口の拡大を

問 新たなプロモーションを展開する予定はあるのか。

答 【町長】 現在、町では「海」「サーフィン」「青いポスト」を素材とした動画と、東京日本橋に設置されている大型サイネージにおいて「いいべ」九十九里の3分動画を配信し、観光PRに努めているところです。今後より多くの方々に閲覧していただけるよう、既存のコンテンツの見直しを行うとともに、観光PRはもちろんのこと、交流人口の増加につながるような新たな情報・魅力の発信について検討してまいります。

問 インスタグラムとの連携は。

答 【企画財政課長】 平成31年1月より「移住者向け情報提供ネットワーク事業」として町公式のインスタグラムを開始いたしました。本事業が観光PRを含めた、より効果的な事業となるよう努めてまいります。

台風の被害状況と支援対策

問 住居、農業、漁業、商工業に係る被害は。

答 【町長】 住居被害は、全壊1件、屋根などの一部損壊545件。農業関係では、水稲、ネギ、トマト、きゅうりなど農産物被害57.7ヘクタール、農業施設被害103件です。

漁業関係では、水産業施設被害31件、商工業関係では、中小企業施設被害28件です。

町の産業活性化
に向け更なる
支援を！



はらだ のりみつ
原田 教光 議員

問 農業・漁業に関する国、県および町の支援策は。

答 【町長】 国・県・町では、「強い農業・担い手づくり交付金」を創設し、農業用施設・機械の再建、修繕、撤去および当該施設の補強に対して支援を行っています。

また、漁業については、漁業者個人への各種融資制度や千葉県による利子補給などの支援策が講じられています。

問 国・県の支援制度に該当しない倉庫や中小企業の建物、漁業設備などの修繕費に対し、町の独自支援は。

答 【産業振興課長】 中小企業については、補助金の創設はしておらず、利子補給を活用（設備資金・運転資金のみ）した修繕となります。

基幹産業である農業振興

問 農業振興における町の取り組み状況および将来のビジョンは。

答 【町長】 農業振興については、関係機関・団体と連携を図っており、特に町農業振興会の6部会で農業の生産性や経営の向上を推進し、経営農家の健全なる発展と農業振興を図っています。

また、将来のビジョンは、後期基本計画において「活力を生み出す農業の推進」を掲げ、「担い手の確保・育成」「農地の保全と有効活用」「消費者とつながる農業の振興」を目指しています。



問 農業の担い手育成・確保は。

答 【町長】 山武農業事務所により新規就農定着後の生産技術と経営能力向上を図る「スキルアップ研修」や次代の農業を担う農業者を育成する「農業経営体育成セミナー」などを実施しており、農業経営者の資質向上に努めています。

千葉工業大学との包括的な連携に関する協定

問 協定に至る経過・運用状況は。

答 【町長】 千葉工業大学と関係がある町民の提案が契機となり、町と大学で協定を重ね、令和元年5月29日に協定を締結しました。これは、教育文化振興や地域経済の活性化など、大学側の最先端技術や英知を提供頂くことを考えています。

また、運用状況については、施設見学やロボット講演などの事業を展開しており、次年度以降の事業実施に向け、大学側と協議を進めています。

問 この協定における提案を頂きました町民の方に感謝したいと思います。教育文化振興同様、産業振興も取り組みが必要だと思いましたがいかがか。

答 【企画財政課長】 現在、町の発展を考える場を設け、漁業、産業、街並み、観光、集客、空き家問題について、ディスプレイの実施に向けた事業提案書を大学側に提案しています。





ほそだ かずお 議員
細田 一男

みんなで
九十九里町を
育てよう！

福祉の充実を

問 地域に合った高齢者や交通弱者に対する交通アクセスの構築・対策は。

答 【町長】 デマンドタクシーや循環バスなど、全国には様々な交通弱者対策事例がございます。これは、それぞれの地域の実情や課題に対して最も適した対策を実施しているものでございます。そこで、本町の実情把握も含め、検討を進めるため、先ずは、国や県、有識者などをまじ

え、本町における地域公共交通のあり方について検討していく機会を設けたいと考えております。一方で、既存の路線バスやタクシーの民間交通機関は、当町にとって必要不可欠であり、その経営を圧迫することは避けなければならぬため、慎重に検討を進める必要があると考えております。

県道飯岡一宮線に架かる作田川架橋の建設計画は

問 県道飯岡一宮線に架かる作田川架橋の建設計画の進捗状況と取り組みは。

答 【町長】 10月21日に当町を含む1市2町で構成する「主要地方道飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会」を通じ、事業主体の県に対し、早期着手および予算の確保の要望活動を行ったところです。また、県からは、橋りょう計画について地元と調整が図れるよう努めていくとの回答もありましたので、今後、引き続き県と連携を図りながら、地元住民のご理解とご協力が得られるよう努めてまいります。

防災計画は

問 片貝漁港付近の防潮堤の建設計画はどのようになっているのか。

答 【町長】 千葉県銚子漁港事務所に確認しましたところ、漁港区域内の作田川左岸側につきましては、コンクリート被覆の堤防が作田川との接点部分を除いて本年度完了予定と伺っております。また、右岸側片貝海岸隣接部につきましても、漁港内との接点部分を除いて完了予定と伺っております。銚子漁港事務所では、地域住民の合意に至っていない漁港内および周辺の整備について、今後、地域住民と漁業関係者を一同に集めた説明会を実施予定です。町といたしましては、11月19日に高橋副知事、滝川副知事ならびに県農林水産部長に現地視察をしていただき、住民が安全で安心して暮らせるよう早期の事業完了を強く要望したところでございます。

問 片貝中央海岸付近の防砂堤の建設計画は。

答 【町長】 千葉県山武土木事務所に確認したところ、防砂堤の

建設については、防護高さの確保を優先に事業を進めており、片貝海岸南町営駐車場の南側にあるトイレ付近の工事用進入路として利用している箇所を除き、本年度末の完成予定であると伺っております。

町営ガスの運営状況は

問 ガス事業において国家資格を持った主任技術者を置かなければならないとなっているが。



答 【町長】 ガス事業法第25条の規定により、ガス事業者はガス工作物の工事、維持および運用に関する保安の責任者として「ガス主任技術者」の選任が義務付けられております。このため、ガス課の職員8名のうち、国家資格である「ガス主任技術資格」を有している職員1名を「ガス主任技術者」として選任しております。

台風や集中豪雨の対策を

問 河川の氾濫、冠水などの事態に備え、洪水ハザードマップの見直しが重要だと思いがいかがか。

答 【町長】 千葉県が策定した洪水浸水想定区域図を基に、洪水ハザードマップの見直しを行い、各世帯に配布を予定しています。

問 避難所運営をみんなで考える一つのアプローチとしてHUG

安全安心な
まちづくりを！



善塔道代 議員

ゲーム(避難所運営シミュレーション)があります。職員の研修はどうなのか。

答 【町長】 町では、職員研修として、平成25年度から合計5回実施し、職員の半数が研修を終えました。引き続き災害時に円滑な避難所運営が図れるよう、研修に取り組みでいきます。



問 各種団体や自治区など、多くの人にもHUGゲームの実施はどうか。

答 【総務課長】 今後の防災訓練などにおいて、自治区の方々の協力を得ながら、自主防災組織各団体などを対象とした研修も視野に入れ取り組みます。

問 災害の発生を前提に、防災関係機関が連携し災害状況を想定、共有した上で「いつ、誰が、何をするか」防災行動と実施主体を時系列で整理した計画として

タイムライン(防災行動計画)があります。小中学校の防災教育として、取り組むべきだと思いがいかがか。

答 【教育委員会事務局長】 災害に対する、マイ・タイムライン作成の必要性を感じています。児童生徒に「命の大切さ」を考えさせる方法の一つとして、マイ・タイムライン考案も検討していきます。

学校ICT教育の取り組み

問 ICTを活用した教育は、子どもたちの学習への興味・関心を高める効果があるとされます。2020年度から本格的に実施される、小

学校のプログラミング教育に対して、小学校の取り組みは。



答 【教育長】 文部科学省が教職員向けに提供している手引きや資料、指導例を踏まえた、より

具体的な実践事例などを活用し、授業に取り入れます。教職員に對しても、小学校プログラミング教育の円滑な実施に向け、準備をしています。

地域の防犯対策は

問 最近、夜中の忍び込みや不審者、盗難があり、一人暮らしの高齢者や町民は不安な気持ちの中で生活をしています。防犯の情報共有として警察からの情報提供ができるのか。情報周知はどうか。警察への巡回パトロールの要請は可能か。



答 【町長】 東金警察署からの犯罪の発生情報などをもとに、防災行政無線、安全安心メールを利用し、随時住民周知をしています。

東金警察署では、要請があれば犯罪の内容や発生頻度により、犯罪が発生した地域に重点を置いたパトロールを行うとのこと



おがわ ひろやす
小川 浩安 議員

安全で安心な
九十九里町!!

台風などによる被災に係る費用は

問 災害復旧事業費および財源は。

答 【町長】 台風15号、19号および10月25日の大雨に伴う災害対応ならびに災害復旧に係る予算は、一般会計補正予算および予備費などに計上した歳出予算の総額は9億5634万9千円となります。

その財源については、一般財源が2億7602万8千円、

国・県からの特定財源につきましては、6億8032万1千円の交付を見込んでいます。

また、さらなる財源の確保に向けて国や県との調整を図っており、今後、特定財源を活用した災害復旧事業などは、当該事業に係る町負担分の70%から80%が、特別交付税により財源措置が見込まれることから、実質的な町負担額は1億602万8千円の見込みとなります。

問 災害廃棄物処理事業費および財源は。

答 【町長】 本町におきましても、台風15号により甚大な被害を受けて大量の災害ごみが発生したため、仮置場を開設し災害ごみを受け入れたところです。

現在、国の災害等廃棄物処理事業を活用して、この受け入れた災害ごみを処分する手続きを進めるとともに、本議会において一般会計補正予算に、その処分に係る経費を計上しました。

この事業の財源内訳は、総事

業費1億629万6千円で、その内、国から50%の補助があり、残りの一般財源については、80%を限度として特別交付税が措置される見通しとなることから、実質的な町負担額は、総事業費の1割程度の1062万9千円が見込まれます。



道路などの環境保全は

問 道路幅を狭め交通の妨げになる樹木や雑草の対応は。

答 【町長】 私有地から道路上に樹木や雑草が張り出している場合、通行の妨げになるほか、信号や道路標識が見えにくくなるので、土地所有者に対しまして樹木などの剪定をお願いいたします。

台風などの自然災害で倒木して、通行の妨げになるなどの緊

急時にあっては、町が伐採する場合があります。

しかしながら、私有地から道路に張り出している樹木などは、土地所有者に所有権があり、町が伐採することは容易にできませんので、土地所有者の責任で対応していただいています。

問 自治区から危険で緊急性を伴う樹木などの要請は。

答 【まちづくり課長】 自治区などから情報が入りましたら、まずは現地を確認し、状況を把握したうえで必要にあっては法務局から資料を取り寄せて、土地の所有者に対し剪定の指導をしています。

それでも所有者と連絡が取れずに剪定の見込みがない場合には、関係各位と協議しながら対応を考えてまいります。



本町における水害対策は

問 本町における近年の水害状況およびその原因の究明・分析は適切に行われているのか。

答 【町長】 大雨の際に、真亀川、作田川、両河川の水位が高い状態となると、排水施設の処理能力が追い付かず、町内各所において冠水が発生している状況です。

農業用排水路関連につきましても、今後、流量調査を行います。

災害につよい
まちづくりを！



あつし 厚 議員
あさおか 浅岡

排水機場のポンプ機能強化を検討し、被害軽減に努めます。

問 治水・水害対策における河川の役割および河川・排水路の維持・改修に対する町の考えは。

答 【町長】 冠水を解消するためには、強制排水施設の設置が必要となりますが、併せて、流末である河川の断面確保のための河道掘削が必要と考えています。



真亀川の堆積土

問 真亀川の堆積土に対する町の考え、地域住民への影響をどのように解消していくのか。

答 【町長】 千葉県に対し、毎年、河道掘削の要望を行っています。住民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、浸水被害の軽減を図ります。

るため、河道掘削の実施など、適切な治水対策を図るよう、県に強く要望してまいります。

津波対策事業の進捗状況は

問 事業の進捗および経過は。

答 【町長】 海岸の津波対策で九十九里町区間の築堤は全4・5キロメートルのうち約4キロメートルが完成、開口部は13箇所です。順次、工事が進められています。事業完了年度は、令和2年度です。



合意が得られていないため、遅延しています。地域住民と漁業関係者を一同に集めた説明会を実施し理解を得て、令和2年度の完成を目指しております。

海岸侵食に対する町の取り組みは

問 海岸侵食対策の進捗状況は。

答 【町長】 海岸侵食対策は、当面は養浜による侵食対策を行っていきます。

問 九十九里浜侵食対策検討会議の開催状況および会議の内容は。

答 【町長】 平成29年から31年まで4回の検討会議が開催され、「九十九里浜侵食対策計画(案)」が示されております。

問 町行政としての対応・体制は。

答 【町長】 関係部署で情報の共有を図り、地域・関係者による会議の場を設け対応していきます。

問 計画遅延(漁港区域)の理由および問題点は。

答 【町長】 防潮堤防護ラインおよび高さについて、地元地区の

議員研修報告



◇講師◇
元全国都道府県議会議長会
議事調査部長 鶴沼 信二 氏

◇研修内容◇
「地方議会・議員の役割と
機能発揮のあり方」

11月7日(水)
九十九里町議会議員研修会
(於…九十九里町役場)

◇講師◇
株式会社 会議録センター
倉本 穰 氏

◇研修内容◇
「もっと伝わる議会だよりへ」

10月16日(水)
九十九里町議会だより研修会
(於…九十九里町役場)

議会へ行ってみよう!

定例会は年4回(3・6・9・12月)開かれます。
役場本庁舎3階で受付すると、本会議を傍聴できます。
お気軽にお越しください。

START!

入口



本庁舎正面入り口から入ります。

3階へ



正面の階段で3階まで行きます。

3階受付



3階で傍聴受付をします。
傍聴人受付簿に「住所、氏名、年齢」を記入し、傍聴人受付箱に入れます。

GOAL!

傍聴席へ



階段を上った右側に入り口があります。
傍聴席にお入りください。
出入りは自由です。



令和元年12月定例会 審議結果を公開

議案番号	上程された議案名	議決結果	議席番号													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
町長提出議案																
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和元年度九十九里町一般会計補正予算(第5号) 消防費、災害復旧費を増額し、総額53億8200万6千円とする	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和元年度九十九里町一般会計補正予算(第6号) 農林水産業費、土木費などを増額し、総額64億7422万9千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和元年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 総務費、基金積立金などを増額し、総額22億5686万7千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和元年度九十九里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 後期高齢者医療広域連合納付金などを増額し、総額2億147万円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和元年度九十九里町介護保険特別会計補正予算(第2号) 基金積立金、諸支出金などを増額し、総額16億3818万3千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和元年度九十九里町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 歳入の一般会計繰入金のうち1160万円を農業集落排水事業債に財源更正、増減はなしとする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和元年度九十九里町ガス事業会計補正予算(第1号) 収益的収入および支出の予算額に、収入支出それぞれ21万5千円を追加する	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定 2ページ参照	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	九十九里町地域産業活性化基金条例の制定 2ページ参照	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	九十九里町森林環境整備基金条例の制定 2ページ参照	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 会計年度任用職員制度が新設されることによる関係する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	九十九里町都市公園設置管理条例の一部を改正する条例の制定 真亀川総合公園トレーニングルーム(フィットネスつくも)使用料の改正に伴う条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めること 教育委員会委員に石田米子氏を任命するもの	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めること 任期満了となる齊藤重晴氏を再任するもの	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めること 任期満了となる大池久男氏を再任するもの	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	山武郡市広域行政組合規約の変更に関する協議 事務事業の見直しにより、「老人デイサービスセンター事業」を令和2年3月31日で廃止するための同組合規約の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めること 任期満了となる鈴木知恵子氏を再任するもの	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情																
陳情第3号	「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

※議長(内山 菊敏議員)は採決に加わりません。

議会活動日誌

2019年10月～12月



10月	1日	9月定例会（3日目）
	3日	9月定例会（4日目）
	4日	総務経済常任委員会（決算説明 企画財政課・産業振興課・農業委員会事務局）
	5日	第38回九十九里町短歌大会
	6日	九十九里町敬老会
	7日	総務経済常任委員会（決算説明 総務課・ガス課・まちづくり課）
	8日	文教民生常任委員会（決算説明 税務課・住民課・健康福祉課）
	9日	文教民生常任委員会（決算説明 社会福祉課・教育委員会事務局）
	10日	9月定例会（5日目）
	16日	九十九里町議会だより研修会
	21日	例月出納検査／九十九里町自衛隊協力会視察研修（神奈川県横須賀市） 令和元年度主要地方道飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会要望活動（千葉市）
	23日	議会だより編集委員会
	24日	令和元年第2回東金市外三市町清掃組合議会定例会（東金市）
	25日	豊海小学校ミニ集会
	30日	令和元年度第1回千葉県町村議会議長会臨時会（千葉市）
	31日	第33回若い芽のジョイントコンサート（東金市）
11月	7日	九十九里町議会議員研修会／議会改革推進特別委員会
	11日	第2回定期監査（ガス課・まちづくり課）／議会だより編集委員会
	12日	第2回定期監査（産業振興課・農業委員会事務局）
	15日	令和元年度第2回千葉県町村議会議長会定例会および千葉県町村議会議長・副議長自治研修会（千葉市）
	19日	令和元年第1回千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会（千葉市）
	20日	例月出納検査
	25日	議会運営委員会／議会全員協議会／議会だより編集委員会
	28日	令和元年度主要地方道飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会視察研修会（埼玉県三郷市）
29日	第1回九十九里町子ども・子育て会議	
12月	3日	12月定例会（初日）／総務経済常任委員会（陳情審議）
	4日	12月定例会（2日目）
	5日	12月定例会（3日目）／議会全員協議会
	18日	九十九里町総合計画審議会・総合戦略審議会の委員委嘱式および総合戦略審議会 議会だより編集委員会
	19日	豊海地区社会福祉協議会ふれあいお楽しみ会
	20日	例月出納検査
	23日	九十九里町介護保険運営協議会／つくも学遊館運営協議会および都市公園施設運営協議会 山武郡市議会議長会臨時総会（東金市）
	24日	令和元年第2回東金市外三市町清掃組合議会臨時会および全員協議会（東金市）



11/15 町村議会議長会定例会

編集後記

限られた紙面の中で多くの議会質疑、一般質問など、議会のすべてをお伝えできないもどかしさを感じます。九十九里町ホームページで全文を載せていただきますので、どうかそちらをご一読ください。

よりよい紙面づくりのために、ご意見・ご要望をお願いいたします。（委員長・荒木かすみ）

●議会だより編集委員会

委員長	荒木かすみ	副委員長	西村みほ
委員	谷川優子	細田一男	善塔道代
	鏑田貴俊	原田教光	小川浩安

3月定例会のお知らせ

3月定例会は3月4日(水)～開催予定です。詳しくは町のホームページをご覧ください。

九十九里町 議会定例会開催

検索

お詫びと訂正

九十九里町議会だよりNo.2の中で、「一般社団法人 千葉県観光公社」と掲載しましたが、正しくは「一般財団法人 千葉県観光公社」でした。

お詫びして訂正いたします。